

令和5年度第3回守山市図書館協議会 議事録（要旨）

令和6年2月21日（水）
午後2時から3時30分まで
守山市立速野会館 多目的室

出席者

委員：久米委員、筈井委員、梅景委員、佐伯委員、村瀬委員、
浅田委員、真弓委員、山田委員、馬淵委員、中島委員、
今関委員、岸本委員

事務局：向坂教育長、川上教育部次長、松本館長、西村副館長、
佐藤参事、天谷係長

1 開 会

<事務局>

本日は、公私何かとご多用の中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。
定刻になりましたので、ただ今から、令和5年度第3回守山市図書館協議会を開会させていただきます。

本日はこの会の様子を写真に撮らせていただいて、インスタグラム等で広報させていただきます。よろしく願いいたします。

また、会議終了後、職員が北部図書館をご案内いたしますので、お時間のある方は、この部屋でお待ちください。

2 会長あいさつ

昨年11月13日に北部図書館がオープンしました。開館式典に参加して、外を見ますと比良山に雪が積もっていました。初冠雪の日だったということです。ここ最近では暖かさのため、比良山の雪はほとんど残っていません。ちょうど雪が降ってから雪がなくなるまでの、季節が過ぎ去る間の図書館活動の報告をしていただけるということで、楽しみにしています。

県内の市民の方々の会合に参加したときに「守山はいいね」というお声をよくお聞きしました。しかし、安心している時がまた危ない時でもありますので、非常によい時期だからこそ油断せず緊張感をもって図書館のことについて考えていかなければならないと思っています。

図書館協議会の委員の皆様は、市民の立場からさまざまな声を図書館に届けていただくということと合わせて、利用者の立場から守山市民の方々に図書館の考えを伝えていくという役割も持っていると思います。図書館が発信するだけでなく、協議会の委員の皆様が市民・利用者の立場から図書館についての発信をしていただくことが大きな力になります。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

3 教育長あいさつ

本日は、大変ご多用の中、守山市図書館協議会にご出席賜り誠にありがとうございます。また平素より図書館運営、読書活動推進につきまして多大なご支援、ご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

この北部図書館“本の湖(うみ)”におきましては、開館後3か月余りが経ち、おかげさまで、園帰りの多くの親子連れや読書や調べ学習のために来館してくれる多くの児童生徒で賑わっており、真新しい本や木のぬくもりあふれる建物に大変喜んでいただいています。

また、毎週火曜日には地域ボランティアと協働でおはなし会を開催し、子どもたちが熱心に耳を傾けています。近隣園の出前おはなし会や、公民館行事と関連した展示等も活発に行っております。

さて、この度、本市では「第3期守山市教育行政大綱」を策定いたしました。「心豊かで、しなやかに生き抜く人づくり」を基本理念としています。

図書館については、家庭や学校園、地域と連携し、読書活動の啓発に取り組むこと、また図書館と北部図書館が連携し、豊富で多種多様な資料の提供や、講座、図書館サポート隊との協働イベント、ブックトークや読み聞かせなどを通して、本との出会いや本に親しむきっかけを図り、「読書日本一のまちづくり」に取り組むとしています。

今回の協議会では、北部図書館の活動を中心に、令和5年9月以降の図書館の運営状況についてご報告いたします。

今後も、協議会委員の皆様から頂きましたご意見やご提案を図書館運営に取り入れながら、教育行政大綱の実現に向け努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

活発なご意見をいただきたく、どうぞよろしくお願い申し上げます。

4 議事

<事務局>

それでは議事に入らせていただきます。これよりは、守山市図書館協議会規則第2条第3項により会長に進行をお願いしたいと存じます。

岸本会長よろしくようお願いいたします。

(1) 報告事項

<岸本会長>

次第に従いまして、本日の協議会の議事を進めてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

報告事項、1点目「令和5年度 図書館運営状況について」事務局より説明をお願いします。

<事務局>

資料に沿って説明

ア 令和5年度 図書館運営状況について【資料1】【資料2】

<岸本会長>

それでは、ただいまの報告に対しまして、ご意見・ご質問等がございましたら、挙手のうえ、発言をお願いします。

<今関委員>

資料1の2頁目にある12月に行われた図書館サポート隊の活動紹介で、私自身はサポート隊ではないのですが、グループの仲間に頼まれて2時間当番をしました。

その間に展示を見に来られた方が2人おられました。お一人は時間をかけて丁寧に見ておられましたが、もうお一人は短時間ですぐに帰られました。私は自分のグループの当番としてそこにいたのですが、サポート隊全体で打合せができていれば来られた方にもっと説明ができたのにと思いました。

古典の会の方がずっとおられるのに誰も尋ねないという状況もありましたし、せっかく展示を行っているのだからもう少し工夫して交流ができればよかったなと思いました。

それぞれのグループとしては十分に表現をさせてもらえてよい時間になったと思います。私たちのグループは午前も午後も一日中紙芝居をさせてもらうことができ、初めて演じる方の紙芝居も見ることができてとても勉強になり面白かったです。

<真弓委員>

私はとしょかんかざり隊！に入っているのですが、今回は個人でワークショップを行いました。内容はクリスマスに向けてのかざりを参加者に作ってもらうというものです。

参加者と会話しながら工作をしていますと、さりげなくサポート隊の勧誘をすることができてとてもよかったです。前は当番だけで勧誘が難しかったので、なにか作業をしながら会話することが大切だと思いました。

サポート隊同士の関わりをもっと進めていければよいと思います。

<岸本会長>

サポート隊同士の横のつながりをつくる工夫としてはどんなことをしていますか。

<事務局>

今回の活動紹介の取組がその隊員同士の交流の一環とは思っていますが、それぞれの催しの待ち時間等でもっと交流ができないか。今回の反省を踏まえて工夫していきたいと思えます。

<岸本会長>

取組を積み重ねる中でよりつながりができるように工夫をしていただければと思えます。

<岸本会長>

それでは、次に2点目の「北部図書館 本の湖の運営状況について」事務局より説明をお願いします。

<事務局>

資料に沿って説明

イ 北部図書館 本の湖の運営状況について【資料3】

<岸本会長>

それでは、ただいまの説明に対しまして、ご意見・ご質問等がございましたら、挙手のうえ、発言をお願いします。

<今関委員>

資料3の2頁目にある北部図書館の学区別利用統計を見ますと、速野学区の棒グラフが突出して高くなっており、速野学区の住民にとってこの北部図書館がどんなに楽しい場所になっているかがよくわかりました。守山市全体を見たときに、近くに図書館があることによってどれだけ利用が増えるかがはっきりわかったと思います。

ところで、小学校の児童は学校帰りに北部図書館を利用することはないと聞いています。児童への図書館サービスは学校図書館の充実によって対応されるのかもしれませんが。ただ、現状として児童が北部図書館を利用する場合はいったん帰宅してから来るということになっているそうです。県内では、学校帰りに公立図書館に寄ることができる自治体もあったように思います。今後、児童が本を借りやすくなるような工夫が必要だと思います。

今日は北部図書館に来たのはオープン以来です。少し早く来ることができたので、開架で本を探していました。本館より本が少ない分、とても探しやすかったです。小さい図書館もいいなと思いました。大人の本と子どもの本がいっしょに並んでいるのも選びやすいと思います。とても素敵な図書館がスタートできていると感じます。

<岸本会長>

久米委員、河西学区からはなかなか北部図書館を利用しにくいものでしょうか。

<久米委員>

河西学区は速野学区の隣ですが、思っていたよりも利用者数が少ないように感じます。

開館してからの季節が冬であったため、日照時間が短いこともありますし、児童が学区外に行くときは基本的には保護者と一緒ということになっています。また、児童が夕方の時間に自転車で交通量の多いレインボーロードを通って行くのは危ないということもあり、利用が伸びない要因の一つかと思います。

今関委員が先ほど言われたように、読みたい本がすぐに見つかる使いやすい図書館だということアピールしていけば北部図書館に行くきっかけになるのではと感じました。

<岸本会長>

小さい図書館と言いますと、本館の改築を行っていた時に市役所の横で運営していた仮設図書館は非常に評判が良かったのです。

その時も、小さい図書館の方が使いやすかったというお声があったほどです。やはり身近にあって、ちょっと立ち寄ってすぐに探せる図書館の存在は大切だと思います。

それだけに、図書館に行くたびに新しい発見があると市民に思っただけけることが重要です。いつ行っても同じ本ばかりという印象になるとそこで終わってしまう。

いつ行っても発見がある図書館をどう作っていくかがポイントであり、仕事としてやりがいがある部分です。

<岸本会長>

次に、協議事項へ移ります。「令和6年度守山市立図書館運営方針および活動計画(案)について」事務局より説明をお願いします。

<事務局>

資料に沿って説明

ウ 令和6年度守山市立図書館運営方針および活動計画(案)について【資料4】

<岸本会長>

それでは、ただいまの説明に対しまして、ご意見・ご質問等がございましたら、挙手のうえ、発言をお願いします。

<岸本会長>

守山市子ども読書活動推進計画第4次計画の策定は図書館協議会で審議する予定なのですか？

<事務局>

第3次計画までは社会教育・文化振興課が事務局となっていましたが、今回からは図書館が事務局となって策定を進めてまいります。社会教育・文化振興課の時は、別個に策定委員会を設けておりましたが、事務局が図書館に移りましたことから図書館協議会が策定委員会となって策定協議を行っていきたいと考えております。

<佐伯副会長>

私は第3次計画の策定委員でしたが、社会教育課の担当の方ががんばってくださって、自分自身でも非常に良いものができたと感じております。

今回の策定委員会はどのような形になるのか、もう少し具体的に教えてください。

<事務局>

骨子案と原案を事務局である図書館が作成し、図書館協議会の場で皆様にご覧いただきながらご意見をいただき、それを踏まえて計画を策定してまいります。

<佐伯副会長>

今日のような図書館協議会の中で子ども読書活動推進計画のことをいろいろ検討していくわけですか。

図書館協議会の委員は色々な立場の方がおられます。もう少し、子どもという分野に絞り込んで委員を選定した方が議論がより深まるのではないのでしょうか。

<事務局>

図書館協議会委員の皆様におかれましては、小中学校や幼稚園の先生、高校図書館の方、子ども文庫活動をされている方、図書館サポート隊の方等、いろいろなお立場の方がいらっしゃいます。子ども読書活動計画には小中学校、園、図書館、家庭、地域の要素がございますので、図書館協議会委員の皆様からそれぞれの要素についてそのお立場からご意見をいただけるものと考えております。

<佐伯副会長>

多くの立場から意見を吸い上げていくのはよいと思いますが、図書館協議会の開催は年間3回だけです。子ども読書活動計画を協議するためには開催回数を増やしていかないと難しいのではないかと思います。

方向性としては賛成ですが、協議の深まりを求めるには、時間的に協議会だけで可能なかという点について不安がありますので、その点を検討していただければと思います。

<事務局>

第3次計画におきましては、社会教育・文化振興課が案を作成しまして、策定委員会の中だけではなく、資料をお送りしてご意見を頂戴するというのもしてまいりました。同じような形でご意見の集約とお伺いというやりとりが必要だと考えております。

<今関委員>

以前に計画を策定したときは、少数の策定委員で深い議論をしたように思います。委員が資料をチェックするだけではなく、キャッチフレーズひとつ決めるのにも、相当議論の中で、表現を選んでいったのです。

今回の進め方はその時と違うように感じます。より多くの立場から意見を集めるということは考え方としては正しいと思いますが、やり方として濃い内容になるのかという点が心配です。

図書館協議会の中で議論しても、そこまで濃い意見は出せないと思います。せっかく第4次計画を作るのであれば策定委員が熱意をもって取り組める体制が必要だと思います。

滋賀県の第5次子ども読書活動推進計画では、「滋賀ならではの「こどもとしょかん」をめざして」という方針が出ています。3月16日には近江八幡市のG-NETしが男女共同参画センターでキックオフフォーラムが開催されます。

県の方で取組が盛んになっていることを踏まえて、守山市の新しい計画を策定する必要があります。県が新しく出してきた方向性を市としてどう具体的に実行し、子どもたちにサービスとして提供していいけるか、期待しているところです。

<川上教育部次長>

第4次子ども読書推進計画につきましては、策定委員を選定するための要綱がございます。その要綱には、委員は15名以内であるということ、学識経験者や子ども読書活動の推進団体の関係者等、さまざまな立場の代表の方にご参加いただくということが定められております。いま図書館長から申し上げたのは、図書館協議会の委員の皆様におかれましてもそのお立場がこの要件に該当するというので、策定委員会をお願いしたいという主旨でございます。

佐伯副会長、今関委員がおっしゃっていただいたように、これは計画ですので、通常の図書館協議会のような諮り方はできないと認識しております。策定後5年間はこの計画を基に活動していくこととなりますので、図書館協議会の場で計画に値する議論が十分にできるのかというご意見をいただいたものと理解しております。

令和6年度第1回目の図書館協議会において計画策定の進め方につきまして、具体的な報告ができればと存じます。

令和6年度当初には、第3次計画の検証がございます。早ければ6月頃には第4次計画の骨子案をお示ししたいと考えておりますし、9月から12月にかけて原案をご提示し、最終的にはパブリックコメント等で市民の皆様からご意見をいただきながら、3月には最終案を策定させていただき、令和7年4月から施行できるようなスケジュールを考えております。

図書館協議会委員の皆様からもご意見を頂戴する場を設けさせていただきたいと考えておりますので、お力添えをいただきたく重ねてお願い申し上げます。

<事務局>

計画策定のスケジュールの中では、いままでにない取組としまして、骨子案ができた時点で、7月頃に一般市民の方からご意見をいただくための説明会を設けたいと考えております。新たな動きとして、図書館としても頑張っ参ります。

<岸本会長>

スケジュールとしてはかなりタイトですので、どこまで広く意見を取り上げられるかがポイントになるかと思えます。

<岸本会長>

他にご意見はありませんか。

では、北部図書館に勤務している佐藤参事から3か月仕事をしてみて、本館の業務と異なる点について感じたところをお聞きしたいと思います。

<佐藤参事>

一番の違いは利用者との距離です。物理的にはカウンターにビニールカーテンがないということもあります。地域住民の方々は図書館ができてうれしいということダイレクトにぶつけてきてくださるので、こちらとしてもそのお声にお応えしたいと思っています。特に図書館の利用に慣れていない方については丁寧に対応していきたいです。守山市民にとっては分館ができるということがはじめてなので、リクエストができる、本館から取寄せることができるなどの分館であれば当たり前のサービスを、よくご存じない方が多くいらっしゃいます。そういう方々に対して、いろいろなサービスをお届けしたいと改めて感じます。原点に返って図書館サービスを行っているところです。

資料3の2頁目にある年齢別利用統計のグラフを見ますと、高齢者の割合は本館と同程度なのですが、乳幼児の割合は本館より多いです。園の帰りに何組かでお話しながら井戸端会議の延長で来館されるお母さんをたくさんお見かけします。そうした方にもっと来ていただくための環境づくりを工夫しているところです。

私自身は、本館でも利用者と距離を近くしたいと思いながらカウンターで接していましたので、その気持ちは変わらずに持ち続けています。来館者が多い本館よりもゆったり時間が流れているので、広い気持ちで利用者に対応することができています。

<岸本会長>

ありがとうございました。ここからは自由に皆様のご意見を伺えたらと思います。

<笹井委員>

11月に開館してから速野会館に用事があった時は必ず北部図書館の様子を見させていただいています。質問ですが、資料1の1頁目、来館者数はどのようにカウントしているのでしょうか。

<事務局>

速野会館と北部図書館両方の入り口にセンサがついています。速野会館の利用を含めた来館者数となっております。

<笹井委員>

中学生の利用については学校帰りに寄っているようだと北部図書館の司書さんからお聞きしています。学校としましては寄り道を推奨しているわけではありませんが、図書館に来館するということは学習したり読書したりする意欲があるものだと思って聞かせていただいております。学校図書館の方も充実させて利用を広げていくことが大切です。学校図書館と公立図書館の両方を伸ばしながら子どもたちが少しでも読書に興

味を持てる環境ができればと思います。そのためには図書委員会の活動も工夫していきたいと考えています。

いまは生徒全員に端末を持っていますので、新しく入った本の紹介を端末から見られるようにしています。公立図書館でも館内のモニタで本を紹介するということが考えられるのではないかと思います。インスタ等の場合は顔が載ることをいやがる子どもも多いのですが、図書館内だけで流れる映像ということであれば出演してくれる人もいると思います。

小学校の場合は集団登下校ですので、学校帰りに図書館に寄るとするのは現状では難しいですし、いったん帰ってから図書館に行く場合は保護者の協力が必要となります。やはり学校図書館との協力関係が大切です。

地域の方からはすごく期待されていて、私が先日お会いした方も、「新しい図書館は皆利用しているのか」ということ言われていました。どの程度利用されているのか、図書館に直接聞きたいという方も多くおられると思います。

<久米委員>

小学校の立場からいくつか申し上げます。

まずは今年から学校図書館に司書さんの配置を増やしていただき、本当に有難く思っています。やはり司書さんが学校図書館にいてくださることがなにより大きいことです。司書さんがおられる時間に合わせて、児童が学校図書館を利用できるようにスケジュールしています。

希望を申せば毎日来ていただきたいと思っておりますが、学校司書の拡充については現場としては、たいへん感謝しておりますので、この事業が衰退しないようにぜひ市にお願いしたいところです。

本校では、学校図書館が校舎の端に位置するために不便な面がありますので、読書の時間を確保するように心がけています。

1年生は週に1時間必ず国語の時間を使って学校図書館に行く時間を設けています。本に親しむ時間を設けることによって読書習慣が身につきます。1年生の読書量が多いのは普段の取組の成果ですので、学校の中で読書の時間を確保していくことが大事だと思います。

高学年になるとなかなか時間が確保できないのですが、今度は図書委員会など子どもの自主的な取組ができるようになりますので、公立図書館の展示やイベント等に学びながらアドバイスをしていきたいと思います。図書委員の熱心な児童たちがおりますので、学校司書さんが来て刺激を与えてくださることで、児童の活発な意見が学校図書館経営に反映することができます。

<梅景委員>

オープンの時に来させていただいて、とても素敵な図書館だと感じました。守山北高校からは本館よりも少し近く、生徒も身近な図書館だと話していました。先ほどもこじんまりした図書館で使いやすいというお話がありましたが、例えて言えば平和堂のアルプラザとフレンドマートのように、フレンドマートはいつも日常に使う。いろいろな物

を見たいときはアルプラザに行くというように図書館を利用しているようです。

本もきれいで、人気の本も棚にあることが多く、生徒もすぐに借りられたと話していました。とても活用できている様子がうかがえます。

当校も地域に根ざした学校として取り組んでおりまして、守山市とさまざまな連携をさせていただいております。コロナ前は委員会活動で学童クラブに読み聞かせに行っていました。当校の近隣にはいろいろな施設がありますので、さまざまな取組ができると思っています。

市立図書館から守山北高校に読み聞かせに来ていただいているので、その経験を活かしながら、北部図書館とも交流をすすめていければと思います。

<馬淵委員>

速野学区のおはなしボランティアとして、北部図書館で読み聞かせをすることになりました。乳幼児への読み聞かせが初めてというメンバーもいます。読み聞かせの実践をしながら、勉強したりアドバイスをもらったり講習会に参加したりしています。

読み聞かせや図書館について改めて勉強し直し、考える機会になっていると思います。これからもおはなしボランティアを長く続けていきたいと思っています。

<中島委員>

北部図書館ができる少し前の10月29日に中洲学区内で新庄町祭がありました。その時に、図書館の方がわざわざ来てくださって北部図書館の宣伝をされ、その場で貸出カードを作成してくださいました。私も、いままでは子どもといっしょに来たお母さんのような生活の中で図書館とつながりを持っている人たちに北部図書館のお話をする機会が多かったのですが、新庄町祭には40歳代、50歳代の図書館を利用したことがない、貸出カードを持っていないという方が大勢いらっしゃいました。改めて図書館への期待の高さを感じました。

これからもっとたくさんの方が北部図書館を利用されたら良いなと思います。私もこのあたたかい感じのする北部図書館が大好きですので、がんばって宣伝しています。

<山田委員>

以前、本館に設置してあるサイネージの音声について意見を申し上げました。超指向性のスピーカーについて調べましたので、資料をお渡しします。モニタの前に立った人だけに音が聞こえるようにできますので、周囲の環境に配慮しながら動画の音声を流すことができます。ただ、高額ですので費用対効果を踏まえて導入についてご検討いただきたいと思っています。

<村瀬委員>

この北部図書館では絵本が選びやすいというお話を聞いておりました。私はまだ2回しか利用していないので、機会をとらえてもっと利用したいと思っています。

また、先日は本館の方で小津神社の長刀祭りについての本を探していました。最初は自分で本を探していたのですがとても見つからなくて、司書さんにお尋ねしたところ本

当に丁寧に調べてくださり、多くの本を紹介してくださいました。いままで司書さんに尋ねるといふことをあまりしてこなかったのですが、気軽に尋ねてもいいのだなと思いました。

資料4の3頁目にございますように、学校図書館を含む図書館機能の充実については、司書の資質向上と書かれています。このことについてしっかりと取組をしてくださっていると改めて感じました。

<真弓委員>

私は滋賀県子ども文庫連絡会の活動をしているのですが、今年1月の例会は守山市立図書館をお借りして、科学絵本の勉強会を開催しました。60冊ぐらい本を集めたくてそれをリストアップしますと図書館の方で短期間のうちに用意してくださって感激しました。また、どうしても確認したい本があったのですが、彦根市立図書館が持っていることがわかり、すぐに取り寄せてくださいました。会の皆で大喜びして開催することができ、司書の方の力を感じました。

もう一点、私はとしょかんかざり隊！にも所属しています。平成30年に図書館が新しくなってから図書館サポート隊の募集があり、当初はある程度のメンバーが集まったのですが、日がたつにつれて少しずつ参加しなくなる人が出て人数が減ってきていました。心配していたのですが、2、3年ぐらい前からはコロナ禍ではありましたが少し参加されていた方が定着してくださり、現在は楽しく盛り上がり活動ができています。

3月25日にはこの北部図書館で、「紙ひこうき大きくせん」という紙飛行機を折って飛ばす行事をすることになり、グループとして協力することになりました。私自身は残念ながら予定が入っていて参加できないのですが、今後もできるだけ協力したいと思います。これからも北部図書館で続いて行事があるといいと思います。サポート隊のメンバーは家が遠い方が多いので、できればこの地域の中でサポート隊になっていただき、将来的には北部図書館だけで活動できるようになればいいなと思います。

<浅田委員>

速野小学校の子どもたちは学校帰りに図書館に寄るのではなくて、いったん家に帰ってから図書館に行っているのですね。少し不便なのは残念だなという気持ちはありますが、近くに図書館ができて幸せだと思います。

<今関委員>

1月28日に草津市で、滋賀の図書館を考える会という集まりがありまして、その中で守山の図書館が脚光を浴びていました。滋賀県内の図書館の中では守山の図書館は元気がいいし、幸せな活動をしていると多くの図書館関係者が思っているそうです。松本館長がその集まりの中で発表してくださったり、守山の図書館友の会の方が発表されたりして、守山はごきげんねというふうに思っていたら、ごきげんねという時が危険なんだと岸本会長がおっしゃいました。私は今日ここに来るのに松本館長の車に同乗してきたのですが、私はいま北部図書館ができたばかりなのに次のことを考えてしまうという話をしていました。守山全体の人たちが誰でも図書館が利用しやすいようにするためには

なにが必要かと考えますと、図書館がそばに来てくれることだと考え始めました。お金がかかることですし、運転手さんも必要ですしそう簡単にはならないかもしれませんが、ゆくゆくは市内のあちこちに出張図書館ができるといいなとイメージしています。

私の友人は足が悪くなってきて図書館に行けないと言っています。本がすごく好きなのに図書館に行きにくくなっているのです。仲良しの人が次々に図書館に行きにくくなるのではないかという予測もあって、図書館がそばに来てくれないかなと夢見ています。

<佐伯副会長>

私も今関委員が言われた会に参加していたのですが、守山の図書館は良いという声がたくさん出ていて、とてもうれしく思いました。昨日も他の会議でこちらの施設に寄せてもらい、2階の大会議室で会合がありました。新しい椅子と机はとても軽くて楽に準備ができました。新しい施設はよくできていると思いますし、北部図書館は新しい本がそろっていて気持ちがいいです。

ただ、北部図書館は、市内の中でも立入が丘小学校区のような、栗東市の方に近い地域からは非常に遠く感じます。本館の場合も車を運転しているから行けますが、自転車で行こうとすると道路の交通量が多くて怖いと感じます。今関委員が言われたように身近に図書館があればいいなと私も思いました。

<岸本会長>

ランガナタンという有名な学者が図書館学の五原則というものを提唱しています。その最初の原則は「図書館は成長する有機体である」というものです。要するに、図書館はその形で留まるものではなく常にそれぞれが置かれた環境の中でそれに合わせて成長していく有機体、つまり生き物であるということを言っています。

守山市立図書館もまだまだ成長するものですから、ぜひこれからも様々な声を聞かせていただきたいと思います。

5 その他

<岸本会長>

その他の項について、事務局から何かありますか。

<事務局>

今年度の図書館協議会は今回で最後となり、2年の委員の任期満了となります。委員の皆様、2年間図書館協議会委員としてご尽力いただき、ありがとうございました。

とりわけ、北部図書館につきましては、開館準備段階から運営方針や活動の方向性について、委員の皆様から様々な貴重なご意見をいただきましたことに感謝しております。今後も、本館、北部図書館両館が、市民に愛され親しまれる図書館となるよう活動を進めてまいりたいと考えております。

<岸本会長>

本日は、円滑な議事運営にご協力いただきましてありがとうございました。それでは、進行を事務局にお返しします。

6 閉会

<事務局>

岸本会長、ありがとうございました。委員の皆様、本日は長時間にわたりまして大変ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして、令和5年度第3回守山市図書館協議会を閉会いたします。本日は、誠にありがとうございました。

以上